恋が叶う詩

-純情編-

The Poem for all lovers

有本光

かなしい出来事の先に 素敵な出来事もあるから きっと二人でいられる



出会った時の熱情が こころからなくなるまでは 好きでいていい



相手の何もかもが 信じられない時でも ふとした瞬間に 優しさを感じることができれば どんなに辛い出来事でも 綺麗な想い出に変わる ずっと一緒にいても 互いの心の奥にあるものは 簡単には見つからない もしかしたら死ぬまで それを見つけることは できないかも知れない それでもきっと互いを信じていれば いつか分かりあえる



誰でも相手と 分かりあえるようになる スピードは違う だからきっと 二人の関係が上手くいくようになる スピードも違う 出逢う前には 理想しかなかった 出逢った後に 現実とかすかな希望が生まれた



恋をもっと楽しむには 自分の素直な気持ちに気づいて 解放すればいい



恋につまづいても 真実の恋に辿り着くためには 時々、自分を許す気持ちが 必要になる



自分が純粋に 感動したことで 相手も感動させることが できたなら こころの間を 見えないチカラが 流れ出す



二人でいる何気ない時に 考えていることが 二人の未来の行く先を ぼんやりと決めている 互いのそれが変われば 二人の望む未来に 変わっていく



心の中にある想いを ありのままに伝える事は 大切だけど どこかに優しさがないと ただ相手を傷つけている こともある



恋愛には時々ありえないことが起きるなぜ好きになってしまったのかそれでもありえないことに 季ねていればいつかその意味が分かる



本当に好きという気持ちはいつのまにか自分の心の中にとてつもないチカラを 導いてくる



触れたらなにかが 壊れてしまうかも知れない だけど、どうしても 触れてみたい そんな恋愛もある



相手に依存することが ふたりを不幸せにするなら 自分も相手を支えていれば ふたりで幸せになれる



ふたりの後ろには 何もなくても ふたりの前には 無限の選択肢がある



愛しているという実感と 愛されているという快感が 重なり合った時 過去も未来も 自然に輝いていく



二人にとっての 特別な出来事を 増やしていくと 何気ない日々が だんだん彩られてゆく



- 二人の絆を結ぶためには 「優しさ」が必要で
- 二人の絆を繋ぎ続けるためには 「許す」ことが必要になる



「幸せ」とか あまり感じなくても 今あるなにかを失ったら いつでもそこにあったことに きっと気が付ける